

令和 5 (2023) 年度
(公社) 日本地すべり学会中部支部総会
議 案 書

・ 日 時 令和 5 年 4 月 2 1 日 (金) 1 4 : 1 5 ~ 1 4 : 4 5

・ 場 所 長野市生涯学習センター(T0iG0) 大学学習室 1
〒380-0834 長野市大字鶴賀間御所町 1271 番地 3 電話 : 026-233-8080

【 総会(14:15~14:45) 】

第 1 号議案 令和 4 (2022) 年度事業報告に関する件

第 2 号議案 令和 4 (2022) 年度決算報告の承認に関する件

第 3 号議案 令和 5 (2023) 年度事業計画(案)の承認に関する件

第 4 号議案 令和 5 (2023) 年度事業予算(案)の承認に関する件

第 5 号議案 令和 5 (2023) 年度役員承認(案)に関する件

※ 電子委任状は、令和 5 年 4 月 19 日(24:00)までの結果を集計致します。

【特別講演(15:00~16:40)】

「遺伝子から紐解く信州の生物多様性」

信州大学 副学長・理学部教授(兼任) 東城 幸治 氏

【意見交換会(17:15~19:15)】

ホテルJALシティー長野 (スカイレストラン白馬【16F】)

会費 7,000 円(事前支払 6,500 円) ※ 学生 3,000 円(事前支払 1,500 円)



お知らせ

YouTube と Facebook を開設しています。

行事案内やオンライン企画イベントなど動画を配信中です！

支部HP



YouTube



Facebook



【日本地すべり学会中部支部 公式サイト】

令和4(2022)年度事業報告

年 月 日	活 動 内 容	備 考
2022. 4. 9(金)	◆第一回幹事会（総会議案書及び総会開催方法の検討）	
2022. 5. 12(木)	◆支部総会〔電子承認にて実施(承認受付期間 4月25日～5月9日)〕	電子承認 実施者数 72名
2022. 5. 18(水)	◆アウトリーチ活動① 「砂防技術者継続学習支援プログラム」への講師派遣(長野県依頼) (対象：長野県職員)	講師 1名
2022. 6. 18(土)	◆アウトリーチ活動② 「現地学習会～小松原地すべり(長野県長野市)～」 (対象：長野西高等学校 天文・生物班(部))	講師 1名 スタッフ 7名
2022. 8. 19(金)	◆第二回幹事会（全国大会及びシンポジウムの検討・現地見学会の準備）	
2022. 9. 7(水)	◆「大規模災害発生時の相互協力に関する協定」の締結 国土交通省北陸地方整備局・日本地すべり学会(新潟支部及び中部支部)	
2022. 9. 9(金)	◆現地見学会・検討会(愛知県知多郡南知多町 山海向山区域, 豊浜区域)	参加者 30名
2022. 9. 27(火) ～ 9. 30(金)	◆第61回(2022年度)研究発表会および現地見学会 (福岡県福岡市) ※ 引き継ぎ会議出席(中部支部関係者 9名)	
2022. 10. 21(金)	◆第三回幹事会（全国大会及び次年度計画の検討・シンポジウムの準備）	
2022. 11. 9(金)	◆中部支部シンポジウム(長野市 ホテル国際21, オンライン) テーマ：「気候変動に伴う土砂災害の現状と原因、今後の課題について」 講演：「地震・豪雨等に伴う土砂災害の実態」 国土交通省 水管理・国土保全局 砂防部 砂防計画課 地震・火山砂防室長 判田 乾一 氏 「地すべり地における地下水動態調査とその課題」 富山県立大学 環境・社会基盤工学 教授 古谷 元 氏 「地すべり研究の今後と課題」 日本地すべり学会 副会長(解説委員長) 榎田 充哉 氏 パネルディスカッション：「気候変動に伴う土砂災害現状と課題について」	参加者 145名
2022. 12. 5(月)	◆アウトリーチ活動③ 「環境防災学～地すべりってなに？～」への講師派遣 (対象：長野工業高等専門学校)	講師 4名 スタッフ 2名
2023. 1. 20(金)	◆第四回幹事会（本年度総括と次年度計画の検討・全国大会について）	
2023. 3. 31(金)	◆中部支部ニュース発行	

令和4(2022)年度決算報告

当期収益合計(A)	2,027,206 円
当期費用合計(B)	2,136,041 円
当期収支差額(C=A-B)	△108,835 円
前期繰越額(D)	944,408 円
次期繰越額(D+C)	835,573 円(2023年度へ繰越)

☆収入の部

科 目	予 算 額	決 算 額	差 引	摘 要
1. 事業収益	405,000	717,200	312,200	
シンポジウム収益	210,000	179,000	△31,000	・対面式(ハイブリッド)、意見交換会あり
現地検討会収益	195,000	140,000	△55,000	・対面式、意見交換会あり
技術講習会収益	0	0	0	・対面総会を中止し、電子承認で実施
その他事業収益	0	398,200	398,200	・委託業務受注
出版収益	0	0	0	
2. 協賛・寄付	1,010,000	1,010,000	0	
特別協賛法人	250,000	250,000	0	50,000×5口(5法人)
協賛法人	760,000	760,000	0	20,000×38口(38法人)
受取寄付金	0	0	0	
3. 雑収益	0	0	0	
4. 受取利息	0	6	6	
5. 預り金	0	0	0	
小 計	1,415,000	1,727,206	312,206	
6. 本部仮払金	300,000	300,000	0	
当期収益合計(A)	1,715,000	2,027,206	312,206	

★支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	差 引	摘 要
1. 事業費	1,603,000	1,927,977	324,977	
シンポジウム会費	641,000	785,264	144,264	・対面式とオンライン式併用のハイブリッド開催や会場費の値上げのため費用増
現地検討会費	628,000	521,135	△106,865	・会場費や印刷製本費が増加したが、動画撮影の取りやめ等が奏功し、決算減
技術講習会費	0	0	0	・対面総会を中止し、電子承認で実施
その他事業費	334,000	621,578	287,578	・委託業務実施に伴う費用等が増
2. 管理費	162,000	208,064	46,064	
給与手当	0	0	0	
会場費	8,000	10,110	2,110	・対面総会を中止し、電子承認で実施
会議費	40,000	85,710	45,710	・幹事会をハイブリッド開催(計4回)できたため費用増(当初想定2回)
印刷製本費	13,000	21,290	8,290	
旅費交通費	66,000	43,760	△22,240	・オンライン参加が多く支出減
通信運搬費	30,000	38,811	8,811	
消耗品費	1,000	5,633	4,633	・コロナ対策費増(非接触温度計購入)
備品費	0	0	0	
外注費	0	0	0	
支払手数料	3,000	2,310	△690	
雑費	1,000	440	△560	
当期費用合計(B)	1,765,000	2,136,041	371,041	

上 記 の 通 り 報 告 し ま す。

令和5年3月31日

会 計 宮 澤 洋 介
出納事務担当者 曾 木 芳 史

監査報告書（中部支部）

2023年 4月 5日

公益社団法人 日本地すべり学会
会 長 笹原 克夫 殿

監事 矢口 大輔 [印影省略]

監事 市沢 美季 [印影省略]

2022年4月1日から2023年3月31日までの会計及び業務の監査を行い、次の通り報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて決算書の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、会議等への出席、又は支部長から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 決算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、支部の経理の状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 支部の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以 上

令和5(2023)年度事業計画(案)

年 月 日	活 動 内 容	備 考
2023. 4. 14(金)	◆第一回幹事会（総会議案書の検討）	
2023. 4. 21(金)	◆支部運営委員会〔T0iGO 長野市 生涯学習センター〕 ◆支部総会〔T0iGO 長野市 生涯学習センター〕 ◆特別講演〔T0iGO 長野市 生涯学習センター〕 講 演：「遺伝子から紐解く信州の生物多様性」 信州大学 副学長・理学部教授(兼任) 東城 幸治 氏	
2023. 8. 上旬	◆第二回幹事会（アウトリーチ活動の検討）	
2023. 9. 19(火) ～ 9. 22(金)	◆第62回研究発表会及び現地見学会(岐阜県高山市) メイン会場 高山市民文化会館 意見交換会 ひだホテルプラザ 現地見学会 ・奥田洞の地すべり対策及び内ヶ谷ダム下流左岸斜面変状対策 〔奥田洞～郡上八幡～内ヶ谷〕 ・天正地震による地すべり・崩壊 〔帰雲城～白川郷〕 ・北アルプスの山岳地帯の砂防と地すべり 〔奥飛騨さばう塾～新穂高温泉・ロープウェイ～西穂高岳〕	
開催時期未定	◆アウトリーチ活動(前年度実績 5月・6月・12月) 〔一般や学生を対象とした防災教育等(調整中)〕	
2023. 10. 下旬	◆第三回幹事会（次年度計画の検討）	
2024. 1. 上旬	◆第四回幹事会（令和5年度総括と次年度計画の検討）	
2024. 3. 下旬	◆中部支部ニュース発行	

令和5(2023)年度事業予算(案)

当期収益合計(A)	1,520,000 円
当期費用合計(B)	1,520,000 円
当期収支差額(C=A-B)	0 円
前期繰越額(D)	835,573 円
次期繰越額(D+C)	835,573 円(2024年度へ繰越)

☆収入の部

科 目	今 年 度 予 算	前 年 度 予 算	差 引	摘 要
1. 事業収益	210,000	405,000	△195,000	・各事業収益は意見交換会費、参加費等
シンポジウム収益	0	210,000	△210,000	・岐阜大会対応のため見送り
現地検討会収益	0	195,000	△195,000	・岐阜大会対応のため見送り
技術講習会収益	210,000	0	210,000	・対面のみ開催
出版収益	0	0	0	
2. 協賛・寄付	1,010,000	1,010,000	0	
特別協賛法人	250,000	250,000	0	50,000×5法人
協賛法人	760,000	760,000	0	20,000×38法人
受取寄付金	0	0	0	
3. 雑収益	0	0	0	
4. 受取利息	0	0	0	
5. 預り金	0	0	0	
小 計	1,220,000	1,415,000	△195,000	
6. 本部からの運転資金※	300,000	300,000	0	・本部支出基準に適合のため申請可
当期収益合計(A)	1,520,000	1,715,000	△195,000	

※「本部仮払金」をR5年度より名称変更

★支出の部

科 目	今 年 度 予 算	前 年 度 予 算	差 引	摘 要
1. 事業費	1,236,000	1,603,000	△367,000	
シンポジウム会費	0	641,000	△641,000	・岐阜大会対応のため見送り
現地検討会費	0	628,000	△628,000	・岐阜大会対応のため見送り
技術講習会費	562,000	0	562,000	・対面のみ開催
その他事業費	674,000	334,000	340,000	・支部ニュース発行 ・災害調査派遣等 ・アウトリーチ若手育成活動 拡充
2. 管理費	284,000	162,000	122,000	
給与手当	0	0	0	
会場費	15,000	8,000	7,000	・会場費等の上昇分を実績に基づき考慮
会議費	100,000	40,000	60,000	・対面開催2回→4回分へ、役員増員も考慮
印刷製本費	25,000	13,000	12,000	・印刷費等の上昇分を実績に基づき考慮
旅費交通費	100,000	66,000	34,000	・役員の増員を考慮
通信運搬費	40,000	30,000	10,000	
消耗品費	1,000	1,000	0	
備品費	0	0	0	
外注費	0	0	0	
支払手数料	2,000	3,000	△1,000	
雑費	1,000	1,000	0	
当期費用合計(B)	1,520,000	1,765,000	△245,000	

第5号議案

(公社)日本地すべり学会中部支部 令和5(2023)年度役員名簿(案)

役 職	員 数	氏 名	所 属 等	
支 部 長	1 名	堤 大三 (つつみ だいぞう)	信州大学	
顧 問	7 名	中村 三郎 (なかむら さぶろう) 北澤 秋司 (きたざわ しゅうじ) 土屋 智 (つちや さとし) 林 拙郎 (はやし せつお) 赤羽 貞幸 (あかはね さだゆき) 八嶋 厚 (やしま あつし) 平松 晋也 (ひらまつ しんや)	防衛大学校名誉教授 信州大学名誉教授 静岡大学名誉教授 三重大学名誉教授 信州大学名誉教授 岐阜大学名誉教授 信州大学	
副支部長	3 名	市川 東大 (いちかわ はるひさ) 古谷 元 (ふるや げん) 沢田 和秀 (さわだ かずひで)	国土交通省中部地方整備局 富山県立大学 岐阜大学 (第62回研究発表会及び現地見学会実行委員長)	
監 事	2 名	矢口 大輔 (やぐち だいすけ) 市沢 美季 (いちざわ みき)	長野県砂防課 長野県農地整備課	
幹 事 長	1 名	吉村 元吾 (よしむら げんご)	長野県砂防課	
副幹事長	6 名	大木 克彦 (おおぎ かつひこ) 西道 正浩 (にしみち まさひろ) 辻 克紀 (つじ かつのり) 杉本 敏彦 (すぎもと としひこ) 林 真一郎 (はやし しんいちろう) 河邊 努 (かわべ つとむ)	愛知県砂防課 石川県砂防課 岐阜県砂防課 静岡県砂防課 富山県砂防課 三重県防災砂防課	
幹 事	18 名	梅崎 健夫 (うめざき たけお) 福山 泰治郎 (ふくやま たいじろう) 飯沼 達夫 (いいぬま たつお) 嶋田 隆信 (しまだ たかのぶ) * 島田 千亜紀 (しまだ ちあき) 曾野 明洋 (その あきひろ) * 高島 誠 (たかしま まこと) 田辺 智司 (たなべ さとし) 廣瀬 一聖 (ひろせ いっせい) * 藤井 雄次 (ふじい ゆうじ) * 山田 泰弘 (やまだ やすひろ) 三田 智裕 (さんた ともひろ) 中村 亮人 (なかむら あきと) 山崎 健仁 (やまざき けんと) 宇野 智博 (うの ともひろ) * 剣持 淳二 (けんもち じゅんじ) * 桜井 千寛 (さくらい ちひろ) * 宮澤 洋介 (みやざわ ようすけ)	信州大学 信州大学 日本工営(株) (株)みずず総合コンサルタント Office アシスト・ゼロ 日本工営(株) 国土防災技術(株) 総合地質コンサルタント(株) 北陽建設(株) 国土防災技術(株) 国土防災技術(株) 長野県森林づくり推進課 長野県砂防課 長野県砂防課 (株)日さく 日本総合建設(株) 総合地質コンサルタント(株) 北陽建設(株)	編集出版 企画・総務 企画 企画 企画 企画 企画 企画 企画 企画 企画・WG対応1 総務 総務 総務 総務 総務・WG対応2 総務 会計

- ・ 氏名の右側の「*」は、長野県土木部地すべり技術指針(案)改訂(予定)の担当者を示しております。
「WG対応」は学会ワーキンググループ支部担当者です(WG対応1：会員数対策WG, WG対応2：アウトリーチ連絡会)。
- ・ 支部役員は、令和4年度に承認済み(任期2年)ですが、令和5年度に中部支部管内で研究発表会が開催されるため、支部役員の増員(5名)を行いたいと思います。また、異動に伴い交代する役員(5名)についてもご承認下さい。
承認対象者(計10名)の氏名には、アンダーラインを引いております。

特 別 協 賛 法 人 (5口)

1 口

長野県治水砂防協会

(一社)斜面防災対策技術協会富山支部

(一社)斜面防災対策技術協会石川支部

(一社)斜面防災対策技術協会長野支部

(一社)斜面防災対策技術協会静岡支部

協 賛 法 人 (38口)

1 口

アスザック(株)

(有)アルプス調査所

(株)アンドー

(株)エスイー

応用地質(株) 長野支店

(株)オサシ・テクノス

小谷建設(株)

Office アシスト・ゼロ

川崎地質(株) 中部支社

関東地質(株) 長野営業所

(株)興和

国土防災技術(株) 長野支店

国土防災技術(株) 静岡支店

(株)サクセン

サンスイ・ナビコ(株)

(株)ジーベック

総合地質コンサルタント(株)

(株)東京電機

(株)中部森林技術コンサルタンツ

(株)中部測地研究所

中部地下開発(株)

(株)千代田コンサルタント

(株)土木管理総合試験所

長野県地質ボーリング業協会

日特建設(株) 長野営業所

日特建設(株) 名古屋支店

日本エルダルト(株)

日本工営(株) 長野事務所

日本工営(株) 名古屋支店

日本総合建設(株)

(株)富士和

フロテックアンカー技術研究会

(株)北信ボーリング

北陽建設(株)

(株)みすず総合コンサルタント

(株)守谷商会

(株)ランドテクト

鷺澤建設(株)

(敬称略) (令和 5 年 4 月 1 日現在)

【(公社)日本地すべり学会 中部支部事務局】

信州大学 農学部 生命科学科(流域保全学研究室内)

〒399-4598 長野県 上伊那郡 南箕輪村 8304

電話 0265-77-1534

URL <https://japan.landslide-soc.org/branch/chubu/>

YouTube <https://www.youtube.com/channel/UCtv3G115yJ27yN0ieQHK4fQ>

Facebook <https://www.facebook.com/jisuberi.chubu/>

事 務 局 長 : 梶持 淳二 1)

事 務 局 員 : 福山 泰治郎 2)・小野 和行 1)

出納事務担当者 : 曾木 芳史 3)

アウトリーチ担当 : 池部 功一 4)・市沢 美季 4)

小川 晋典 5)・小野塚寧々 1)

小林 裕典 3)・佐藤知闘 3) 4)

※ 所 属 1) 日本総合建設(株), 2) 信州大学, 3) 北陽建設(株),
4) 長野県, 5) 総合地質コンサルタント(株)